

## 私を変えた先生との出会い

「岡上君は、先生に向いてるね。いつか同じ教壇に立てるといいね。」

この言葉は、私が中学3年生の時に担任の先生からいただいた言葉です。その先生は、私にとって恩師と呼べる先生で、私の人生に大きなきっかけを与えてくださいました。

その先生は、生徒一人一人としっかり会話し、人情味があり、とてもユーモアのある先生でした。そして何より、生徒の可能性を最大限に引き出してくださる先生でした。

当時の私は、恥ずかしがり屋で、人前に立つのが苦手な性格でした。そんなある日、私は恩師の先生に職員室に来るように言われました。「体育大会の団長をやってくれないか。」先生からの突然の話で、とても動揺したことを今でも鮮明に覚えています。ましてや、私のいた学校は、県内でも大規模校と言われるほどの生徒数を誇り、人前に立つことが苦手な私には、大人数の団員をまとめることなど到底務まらないと思っていました。先生は私の何を見て、そのようなことを言われたのかは今でも分かりません。しかし、先生の説得も受け、私は団長をやることになりました。実際にやってみると大変なこともありました。しかし、その反面、それまで感じたことのない達成感や充実感を味わうことができました。そして、なにより「自分にもできるんだ。」と思えたことが、当時の私にとって大きな自信となりました。

それ以来、私に体育大会の団長を薦めてくださった恩師の先生に感謝すると同時に、「自分もこんな先生になりたい。」と思う気持ちが強くなりました。“生徒の可能性を最大限に引き出してあげられるような先生”これが恩師の先生の教師像でもあり、私の理想とする教師像になりました。

その後、運命的にも恩師の先生と同じ大学に進学し、この春、教員になることができました。今となっては、本当に恩師の先生の一言があったからこそ、今、こうして教員としてスタートラインに立つことができたと感じています。

これからは、恩師の先生のような教師になることを目標に、ひたすら全力で走り続けていきます。そして、いつか先生と同じ教壇に立てることを願っています。

岡上 桂  
(一般)